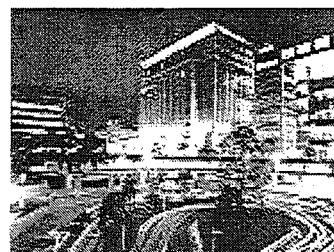


2. 景観・都市デザイン

タイトル	「思い」が「かたち」となったまちづくり	分野	景観・都市デザイン、都市づくり
実施校・学年	(授業企画)	参加・協力者	未定
授業内容・ 進め方	1. 計画的に作られ都市デザインに配慮した街と、乱開発への危惧を説明 ●横浜みなとみらい21地区の夜景写真提示 (発問)この街を見てどう感じますか →きれい、美しい街だ 説明:この街は都市計画によって作られた街です。 私たちの住む川崎市はどうなのでしょう。 ●川崎市の人口増加グラフ提示 説明:「今から40年前、川崎市の人口は5年間で 234,000人も増えました」 (発問)これだけ急激に人口が増え、家が建てられると、一番困ることは何ですか → 緑がなくなる、車が増える、空気が汚れる … 2. 新百合ヶ丘地区の「農住都市構想計画」について 説明:「どんどん山を切り開いて家を建てていくのを放置しておくと、無秩序なまちになってしまいます。新百合ヶ丘地区では「農住都市構想計画」作られました。これは、地域の住民、地主、行政の三者が話し合っ、まちづくりをしようと計画したものです」 ●三者の話し合い写真、計画図面を提示 ●新百合ヶ丘地区の昔の写真を年代順に提示(S45年、駅前山、49年駅開設) 説明:現在の新百合ヶ丘地区は、30年前、新百合ヶ丘まちづくり財団代表中島さんの「このまちに代々300年、500年住んでいくのだから、中途半端なまちづくりはできない。将来どこの街にも負けない日本一のまちを作りたい」との「思い」から出来上がったこと ●新百合ヶ丘駅前の写真提示 (発問)まちづくりのために三者で話し合った思いが「かたち」になりました。どれだか探してみましょう →点字ブロック、歩くところに緑がある、電信柱がない… 説明:建築物の色の統一、広告物のデザイン(イトーヨーカドーにハトマークがない、看板の高さ制限)、通りのデザイン(歩道と車道の分離、点字ブロック、滑りにくいタイル)、緑(植栽、角に丸みをつけた花壇)、照明デザイン 3. 都市景観大賞受賞について 説明:「美しい街並は、住む人々の工夫や努力によって初めて作られるものです。美しい街には毎年都市景観大賞が与えられます。第1回受賞は札幌、2回は松江、…」 ●都市景観大賞受賞都市の写真をもとに1回から順を追って提示 (発問)では第8回はどの都市がもらったと思いますか →わかりません、新百合ヶ丘かな… 説明:「実はわが街、新百合ヶ丘なのです」		
報告形式	神奈川シンポジウム／模擬授業		



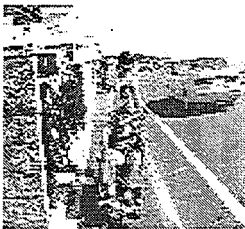
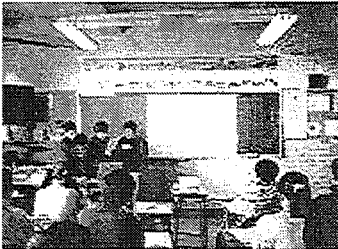
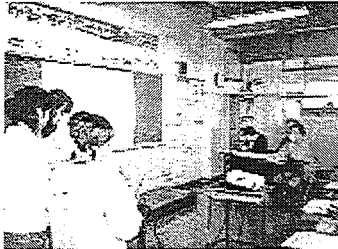
第8回都市景観大賞受賞

タイトル	まちにあふれるすてきなデザイン	分野	景観・都市デザイン
実施校・学年	静岡県三島市立北上小学校(授業企画)	参加・協力者	未定
授業内容・ 進め方	1. まちにあるきれいなデザインのマンホールの蓋を知る ●3種類の写真を一枚ずつ見せる (発問)あるものの一部分を見せます。何でしょうか →陶器の模様、壁のデザイン →何かのマーク、マンホールの一部分 … (発問) 3枚の写真に共通するものは何ですか →陶器の模様、壁の模様 説明:これはすべてマンホールのデザインの一部です。 (ひとつずつ解説:「〇〇市〇〇町のマンホールです。模様は町のマークです。雨の日の滑り止め機能もあります」等)     静岡県静岡市 大阪府泉大津市 愛知県名古屋市 三重県四日市市 ●他の都市のマンホールの事例も見せる (発問) 岡山県熊山町では子供が描いたデザインを採用したそうです。どんなものか想像できますか。 →熊さんのマーク ●写真提示(説明:そうです。こんなにかわいい熊さんマークのマンホールです) 2. デザインされたインターロッキングを知る ●写真提示 (発問)では、これは何でしょう →ブロック、花壇の石 … 説明:これは歩道に埋め込まれるブロックで「インターロッキング」といいます。 ●別のインターロッキングの写真を提示 いろいろな色や形があります。組み合わせでいろいろなデザインが作られます ●組み合わせでデザインしたものを数種類見せる (発問) このインターロッキングの組み合わせはなんだか分かりますか →何かの顔、模様 … (説明:これはカニです) →小泉総理、エジソン … (説明:バッハです) →体操、仮面ライダー … (阿波踊りです) 3. 都市にあるデザインされた公共物を知って、探索に ●まちにあるきれいなデザインの公共物の事例写真提示 説明:「まちにはこの他にもすてきなデザインであふれています。このようなデザインはまちを明るく楽しいものにしてくれます」 「私たちの学校の周りにも楽しいデザインがあります」 (呼びかけ) 私たちの校区の楽しいデザインを探してみよう!		
報告形式	静岡シンポジウム／模擬授業		

タイトル	ユニバーサルデザインって何？	分野	福祉、都市デザイン
実施校・学年	(授業企画)	参加・協力者	未定
授業内容・ 進め方	1. 「ユニバーサルデザイン」コンセプトで製作された製品を見せ、概念を教える ●シャンプー、リンス、テレホンカードの写真提示 説明:「これらのものは「ユニバーサルデザイン」という考え方で作られています。「ユニバーサルデザイン」とは、全ての人が暮らしやすいように、まちづくり、ものづくりをデザインしようという考え方です。」 (発問)これはどんな人にやさしいのでしょうか→(指名) ●シャンプーとリンスを区別するギザギザの部分の拡大写真提示 説明:「目の不自由な人が区別できるようにした工夫ですが、髪を洗うとき皆も目をつぶったまま探したことがあるでしょう。これは健常者にも優しいのです。」 (発問)ユニバーサルデザインは全ての人のために作られていますが、「全ての人」とはどんな人でしょう→(指名) 説明:「全ての人には、目の不自由な人、耳の不自由な人、手足が不自由な人、お年寄り、子ども、外国の人など、あらゆる人々のことです。」 2. 身近な道具類の事例を知る ●ユニバーサルデザインとして作られた、身近な品々の写真を提示(片手で開けられる歯磨き粉、電話や電卓の中央キーの出っ張り、左右どちらの手でも使えるハサミ、携帯電話のマナーモードなど) 3. 「ユニバーサルデザイン」で作られた身近な建物を知る ●地域活動ホームの外部、内部写真提示 (発問)学校の近くにある地域活動ホームです。どこがユニバーサルデザインですか→(指名) 説明:「受付や電話台が車椅子の人でも、子どもでも使えるよう低くなっています。引き戸は少ない力でも開けられるなど、いろいろなところにユニバーサルデザインの考え方で作られています。」 ●手すり、点字ブロック、スロープ、高さの違う窓など、他の箇所の写真を提示 4. まちにある「ユニバーサルデザイン」を知る ●英語とハングルが併記された案内板、絵文字、音声案内、料金投入口の大きな自動販売機など、街で見かける事例の写真提示 5. まち探検:「ユニバーサルデザイン」をみつけにこよう 6. 提案:こんなものがあつたらもっと暮らしやすいという、まちの「ユニバーサルデザイン」を考えよう		
報告形式	神奈川シンポジウム／模擬授業		



3. 福祉のまちづくり

タイトル	福祉ボランティアの授業からまちづくりへ	分野	福祉、道路、まちづくり
実施校・学年	神奈川県横須賀市立津久井小学校 6 年 1 組	参加・協力者	横須賀市企画調整部企画調整課・市民部市民生活課・土木部交通対策課担当者
授業内容・進め方	1. アイマスク、点字、手話、車椅子を体験（体育館など） 2. 福祉ボランティアの視点で学校や学区を調査 ・どの視点手調査するか決め、グループ編成 ・アイマスクをつけ街を歩く ・車椅子で街を移動 ・気づいた問題点を記録 ・調査結果をまとめる（パワーポイント使用） 3. 福祉ボランティアの視点で日本と外国の国々との関係を考える （ユニセフ、地雷除去、国境なき医師団などの学習） 4. 自分が実行できることを発見、実践 ・福祉ボランティア実践：学習で学んだ事をもとに、自分がまず実行できることを見つける。可能な範囲で実践、実践を報告する。 5. 発表会 （日時）平成15年1月21日（火） （場所）津久井小学校 6 年 1 組教室 （参加者）横須賀市企画調整部企画調整課・市民部市民生活課・土木部交通対策課担当者    （内容）小学生のまち体験発表 （何をし、何を感じたか、提案など） ・アイマスクをつけての歩行、車椅子の体験使用を通じて、身障者にとって街のインフラが必ずしも、便利と言えない状態にあることを実体験し、パワーポイントで報告した。 - A 見えない恐怖心 - B 車椅子の便利さ - C 車椅子体験 - D 不自由な人の生活 - E 身の回りの危険 - F 鳥のように飛びたい - G 車椅子体験 （問題点の例） 左右に傾斜した道：狭い、傾斜が車椅子にはづらい 点字ブロック：車椅子はガタついて不便、古くなったものは歩きにくい、		

	凹凸を少なくしたものを作れないか 等 ・まち体験からの疑問や提案に対して、行政担当者からは道路作りの考え方、新しい点字ブロックの開発について、まちづくりの考え方、まちのルール作りの大切さ、市民生活において自分にできることをする姿勢などが説明された ・市の職員の感想：「素直なだけに核心をついている」「的をえている」「大人の考えることと同じ」「生身の体験から出ている内容」など
報告形式	神奈川シンポジウム／実践報告、公開ワークショップ(5. 発表会について)

タイトル	障害を持つ人・老人に優しい都市を考える、ボランティアの視点に立った都市づくり教育	分野	福祉のまちづくり
実施校・学年	群馬県群馬郡箕郷町立箕輪小学校 5 年生	参加・協力者	役場、社会福祉協議会、各調査対象施設関係者・利用者、保護者等
授業内容・進め方	(実施時期)平成13年1月～3月 1. 既習の体験活動を振り返る ・4年生の学習(まちのバリアフリー見学)を振り返る 2. 参加・体験・学習 ・車椅子体験:障害とはなにか、車椅子の機能・種類について、校舎を車椅子に乗って移動してみる ・車椅子:乗って気づいたこと、車椅子に乗った友達を介助して気づいたことを整理 ・高齢者体験用具を装着してみる →お年寄りにとって不自由と思うことを考える。今後お年寄りにどう接していけばよいか考える 3. 学習テーマを決める、テーマの集約、グループ作り ・「みんなが住みやすい箕郷町」を作っていくには、どんなところを変えていけばいいか？ →具体的に調べてみたいこと、調べたい理由を書き出し ・課題を集約し、テーマ別にグループ構成 4. 調査活動 (活動計画立案) ・課題、調べる理由、先生のアドバイスをもとに、校外での活動計画をたてる(準備するもの、行き先、行動予定時間、気をつけることなど)。 (調査):役場、図書館、保健センター、老人施設、大規模商業施設、道路、電話ボックス等 ・見学の打診(先生)→子どもがアポイントを取る ・約90分を基本 ・担任は携帯を持参、車で見学先を巡回。保護者には付き添いをお願いするなど(事後の指導など):お礼状を書く 5. まとめ ・課題(テーマ)、調査理由、調査内容、調査結果、すみやすい町にするための提案を1枚の模造紙に整理(報告書、プレゼンテーションにも使えるように整理) 6. 発表・提案 ・スーパー周辺の段差(提案例:段差をなくしスロープを多く) ・車椅子が通りやすい道(ちょっとした段差が大変、そういう場面を見たらすぐ手助け) ・お年寄りのための箕郷町の工夫(町の工夫が分かったが、お年寄りや障害者などと一緒に楽しめることがもっとあるといい) ・電話ボックスのバリアフリー(工夫がないところがあるので、あるものが増えるといい) ・公共施設のバリアフリーと使われ方(もっと段差を少なく、歩道を広く、階段の傾斜を緩やかに、手すりをつけるなどするといい) ・車椅子に乗っている人の買い物行動(スーパーには思ったより段差が多く、レジとか狭くて車椅子が通れないところがある。車椅子のお客は少ないなどが分かった) 7. その後 ・平成14年度から「Dream Come Trueわたしたちのまちづくり」として継続中		
報告形式	群馬シンポジウム／実践報告		

